



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 日東エフシー株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4033 URL http://www.nittofc.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡邊 要  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)武田 聡 (TEL)052-661-4381  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	4,084	12.7	485	63.0	620	290.7	408	365.9
23年9月期第1四半期	3,623	△2.2	297	△33.6	158	△73.7	87	△75.0

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 398百万円(327.6%) 23年9月期第1四半期 93百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年9月期第1四半期	15	27	—	—
23年9月期第1四半期	3	25	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	44,591	38,291	85.9
23年9月期	43,900	38,370	87.4

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 38,291百万円 23年9月期 38,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年9月期	—	—	10	00	—	—
24年9月期	—	—	—	—	10	00
24年9月期(予想)	—	—	10	00	—	—
			—	—	10	00
					20	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,900	11.8	1,100	27.4	1,200	19.4	720	22.2	27	15
通期	18,000	5.7	2,100	8.7	2,200	22.8	1,320	62.9	49	78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (―)、除外 一社 (―)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年9月期1Q	29,201,735株	23年9月期	29,201,735株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年9月期1Q	2,687,144株	23年9月期	2,217,144株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年9月期1Q	26,759,808株	23年9月期1Q	26,984,640株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「東日本大震災」の影響による経済活動の停滞から一部持ち直しの動きが見られるものの、欧州債務問題や歴史的な円高水準による企業業績の下振れ懸念が深刻化するなど、先行きに不透明感は払拭できない状況で推移いたしました。

肥料業界におきましては、施肥節減や流通在庫圧縮の定着、年2回肥料価格を改定する2期制の導入などにより、農家は価格動向に敏感となっており各社の競争は激化しております。これに加え、「東日本大震災」や「福島第一原発事故」による被災農地の復旧状況や農産物の安全性への関心の高まりなど、生産や需要動向に及ぼす影響が懸念されております。

このような状況のもと、主力の肥料事業におきましては、顧客ニーズに対応した土壌分析や技術指導等の付加サービスを伴う営業活動により拡販を推進し、商社事業におきましては、国際市況と国内需要動向等を注視しつつ受注の拡大に努めてまいりました。

また、不動産賃貸事業につきましては所有している賃貸物件毎の収益性や稼働率の向上を図り、その他事業ではホテル・運送・倉庫の各部門とも稼働率や顧客サービスの向上等により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は40億84百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は4億85百万円（前年同期比63.0%増）、経常利益は6億20百万円（前年同期比290.7%増）、四半期純利益は4億8百万円（前年同期比365.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

## (肥料事業)

肥料価格改定に伴う前倒し需要や付加サービスを伴う営業活動により受注の拡大を図るとともに、また、生産効率の向上等による原価低減や経費圧縮に努め収益性の向上に努めた結果、売上高28億70百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益3億88百万円（前年同期比106.9%増）と増収増益となりました。

## (商社事業)

アグリ・化学品とも国際市況の変動により原価率が上昇し、経費削減等に努めましたがこの影響を補いきれず、売上高8億21百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益68百万円（前年同期比2.1%減）と増収減益となりました。

## (不動産賃貸事業)

賃貸物件毎の稼働率向上に努めましたが、NFC名駅ビルの建替に伴う影響もあり、売上高2億88百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益1億50百万円（前年同期比9.6%減）と減収減益となりました。

## (その他事業)

前期並みの売上高を確保しましたが、経費負担の増加もあり収益は前期を下回って推移しました。その他事業全体では、売上高1億79百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益25百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億90百万円増加し445億91百万円となりました。これは主に、現金及び預金が12億79百万円、受取手形及び売掛金が6億40百万円、たな卸資産が11億23百万円増加したことや、有価証券が22億70百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7億69百万円増加し62億99百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億78百万円増加したことや、賞与引当金が1億15百万円、未払法人税等が1億円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が1億38百万円増加したことや、自己株式の取得により2億7百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し382億91百万円となりました。この結果、自己資本比率は85.9%（前連結会計年度末87.4%）となりました。

利益剰余金の変動状況につきましては、四半期純利益の計上により4億8百万円増加し、配当金の支払いにより2億69百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加し230億53百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点においては概ね予定の範囲内で推移しており、平成23年11月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,940,341	9,220,249
受取手形及び売掛金	4,752,310	5,392,422
有価証券	3,617,832	1,346,845
商品及び製品	2,227,107	2,791,842
仕掛品	289,765	254,408
原材料及び貯蔵品	1,997,268	2,591,216
その他	390,630	453,193
貸倒引当金	△1,690	△1,025
流動資産合計	21,213,566	22,049,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,080,298	4,010,910
土地	13,472,092	13,472,083
その他(純額)	481,246	441,698
有形固定資産合計	18,033,637	17,924,692
無形固定資産	607,946	599,782
投資その他の資産		
投資有価証券	3,056,723	3,047,724
その他	994,011	973,957
貸倒引当金	△5,599	△4,292
投資その他の資産合計	4,045,135	4,017,388
固定資産合計	22,686,719	22,541,862
資産合計	43,900,285	44,591,015

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,172,252	2,251,050
短期借入金	9,188	—
未払法人税等	231,096	130,771
賞与引当金	222,175	106,182
役員賞与引当金	1,000	—
その他	1,962,536	1,985,846
流動負債合計	3,598,250	4,473,851
固定負債		
退職給付引当金	24,518	25,416
役員退職慰労引当金	208,401	185,939
その他	1,698,278	1,614,241
固定負債合計	1,931,198	1,825,597
負債合計	5,529,449	6,299,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,410,675	7,410,675
資本剰余金	9,100,755	9,100,755
利益剰余金	22,915,068	23,053,761
自己株式	△1,099,958	△1,307,698
株主資本合計	38,326,539	38,257,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,293	34,073
繰延ヘッジ損益	2	△0
その他の包括利益累計額合計	44,296	34,073
純資産合計	38,370,836	38,291,566
負債純資産合計	43,900,285	44,591,015



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,623,663	4,084,468
売上原価	2,810,016	3,094,166
売上総利益	813,646	990,301
販売費及び一般管理費	515,729	504,559
営業利益	297,916	485,742
営業外収益		
受取利息	15,849	8,061
受取配当金	14,297	16,628
持分法による投資利益	17,067	33,841
為替差益	11,076	—
デリバティブ評価益	—	122,695
その他	23,433	18,920
営業外収益合計	81,725	200,147
営業外費用		
支払利息	2	10
為替差損	—	59,184
デリバティブ評価損	220,407	—
売上割引	261	237
その他	189	6,062
営業外費用合計	220,860	65,494
経常利益	158,781	620,396
特別利益		
固定資産売却益	338	134
貸倒引当金戻入額	1,764	—
特別利益合計	2,103	134
特別損失		
固定資産廃棄損	480	—
特別損失合計	480	—
税金等調整前四半期純利益	160,403	620,530
法人税、住民税及び事業税	44,346	173,285
法人税等調整額	28,363	38,706
法人税等合計	72,709	211,991
少数株主損益調整前四半期純利益	87,694	408,539
四半期純利益	87,694	408,539

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,694	408,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,104	△10,220
繰延ヘッジ損益	△6,641	△2
その他の包括利益合計	5,462	△10,222
四半期包括利益	93,156	398,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,156	398,316

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,386,442	791,129	309,585	3,487,157	136,505	3,623,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,485	22,701	27,187	41,042	68,230
計	2,386,442	795,615	332,286	3,514,344	177,548	3,691,893
セグメント利益	187,865	69,471	166,443	423,780	32,780	456,561

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	423,780
「その他」の区分の利益	32,780
セグメント間取引消去	3,981
全社費用(注)	△161,803
その他の調整額	△822
四半期連結損益計算書の営業利益	297,916

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	肥料事業	商社事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,870,286	812,078	265,661	3,948,026	136,441	4,084,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,353	22,749	32,103	43,094	75,197
計	2,870,286	821,432	288,410	3,980,129	179,536	4,159,665
セグメント利益	388,605	68,021	150,471	607,097	25,286	632,384

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	607,097
「その他」の区分の利益	25,286
セグメント間取引消去	3,874
のれんの償却額	△1,572
全社費用(注)	△150,447
その他の調整額	1,503
四半期連結損益計算書の営業利益	485,742

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。